

# 再生可能エネルギーインフラストラクチャー投資において セミキッドファンドを選ぶ理由

2024年5月



個人投資家が再生可能エネルギー投資にアクセスできる機会が増えてきています。セミキッドファンドのどのような点が適しているのかを見ていきます。

**ジャック・ワッサーマン**

プライベート・マーケット・グループ、  
シュローダー・グリーンコート

**ダンカン・ヘイル**

プライベート・マーケット・グループ、  
シュローダー・グリーンコート

長年にわたり、大規模な機関投資家は非流動性資産への投資のメリットを享受してきましたが、個人投資家は多くの質の高い投資機会を活用することができず、取り残されてきました。

これには、エネルギー移行に関連するインフラ資産を直接保有するような投資も含まれます。こうした投資は、より高いリターン、ポートフォリオの多様化、環境と社会、さらにはエネルギー安全保障に多大な利益をもたらします。

今日、個人投資家がこうした投資にアクセスできるような新しいファンドの仕組みが提供されています。個人投資家はこの新たに見られる投資機会に反応しており、エネルギー転換に対応し、投資家のポートフォリオに差別化されたリスク・プロファイルをもたらす資産への需要が高まっています。

ここでは、個人投資家がエネルギー移行の投資機会にアクセスする方法と、「セミキッド」の構造が適している理由について説明します。

## なぜエネルギー移行インフラストラクチャーなのか？

2030年までに、エネルギー移行を支えるインフラに年間2兆米ドル以上が投資されると予想されています[1]。この資本の大部分は、風力発電所、太陽光発電所、水力発電所といった従来の再生可能エネルギー資産に向けられる予定ですが、グリーン水素製造、蓄電池、大規模な地域熱暖房ネットワークといった分野にも資本が投下されています。

私たちは以前、この資産クラスが経済性とサステナビリティの両面から、投資家にとってどのように魅力的であるかを調査しました。サステナブルな成果が得られることは紛れもない事実ですが、ポートフォリオに対する潜在的な経済的利益があることで、この資産クラスが急速に富裕層投資家のポートフォリオに不可欠な要素になりつつあることは間違いありません。エネルギー移行は、投資家にリスクの分散と、高水準で安定した予測可能なキャッシュフローを原動力とした強力なリターンのエクスポージャーをもたらします。

## セミキッドファンドとはどのような仕組みでしょうか？

セミキッドファンドは、投資家が非流動資産のエクスポージャーへのアクセス、資産配分、管理を容易にするために創設されました。従来の非流動性ファンドの仕組みでは、高額な最低投資金額、キャピタルコール・ドローダウン、長期にわたるロックアップなど、個人投資家がアクセスするには常に大きな障壁がありました。

# 再生可能エネルギーインフラストラクチャー投資において セミキッドファンドを選ぶ理由

2024年5月



セミキッド型では、投資家は純資産額（NAV）で売買することができ、流動性を管理するために開発された申込方法と償還方法（およびそれらに関するルール）があり、通常、任意の時点で償還できる金額には上限が設けられており、その上限はNAVの5%であることが一般的です。地域別、セクター別、資産タイプ別（および上場株式や現金など流動性の高い投資への少額の配分）に分散され、適切に構築されたポートフォリオは、定期的で一貫性のある「自然な流動性」のレベルを作り出すことができます。セミキッドファンドはまた、償還限度額の設定や流動性のある投資の売却など、ファンド内の流動性を管理する流動性管理ツールを採用しています。

## なぜセミキッドファンドがエネルギー移行の投資に適しているのか？

非流動性資産への投資は多くの投資家にとって初めての試みであり、セミキッドという仕組みは、エネルギー移行関連資産を投資対象とする投資家が抱く可能性のある主要な質問に答えるように設計されています。

## 簡単かつ確実な方法でエネルギー移行資産にタイムリーにアクセスするには？

結局のところ、セミキッド構造の主な利点は、運用が容易で、高品質で差別化された資産にアクセスできることです。エネルギー移行インフラストラクチャーの場合、投資家はそのリスクとリターンから恩恵を受けることができ、既存のポートフォリオの成果向上に寄与するとともに、今日の市場で提供されている魅力的なエントリー・ポイントにアクセスすることができます。

## エネルギー移行は実現されると思いますが、もし状況が変わり、資金を引き出す必要が生じた場合は？

エネルギー移行は長期的なテーマであり、エネルギー移行分野への投資家は一般的に長期的な視点を持っています。しかし、投資家のニーズは時間の経過とともに変化するものです。再生可能インフラ投資は一般的に流動性が低いと考えられていますが、セミキッドファンドは流動性への定期的なアクセスを提供し、バランスをとっています。投資家は、ファンドの基準価額で定期的な申込と解約を柔軟に行うことで、エクスポージャーを管理することができます。

セミキッドファンドが定期的な解約を提供するとしても、日次流動性を提供する投資信託ほどの流動性を提供できないことは認識することが重要です。解約対応資金は、エネルギー移行資産からもたらされる高水準のキャッシュフロー、適度な流動性資産の保有、そして必要に応じて、エネルギー移行資産のエクイティを大規模に成長する売買市場でファンドマネジャーが売却する能力など、さまざまな要素を組み合わせることで管理されます。

## エネルギー移行は常に進化しています。投資初期に幅広い資産にアクセスし、時間の経過とともにそのポートフォリオが確実に進化していくようにするには、どうすればよいですか？

セミキッドファンドの「エバーグリーン」オープンエンド型構造は、ファンドへの継続的な投資を可能にし、投資家は資金を即座に活用することができます。投資家の申込は、既存の資産プールに追加され、さらに多くの資産を購入し、資産プール全体を拡大するために使われます。この方法によって、既存の投資家はポートフォリオの新しい資産の購入による潜在的な成長とリターンの恩恵を受けることができる一方、新規投資家は投資初日から分散されたポートフォリオにアクセスすることができます。

## エネルギー移行資産への投資に対して適切な手数料を支払うにはどうすればよいですか？

手数料体系はセミキッドファンドによって異なりますが、規制当局の監視の強化と、透明性の重視により、手数料の情報は明確化する必要があります。

再生可能エネルギーインフラストラクチャー投資において  
セミキッドファンドを選ぶ理由

2024年5月



セミキッド構造では、投資家は通常、マネージャーに支払われるすべての手数料を完全に把握することができるため、取引手数料（マネージャーが資産を売買する際に追加で支払う手数料）などの要素が目に見える形で確認することができます。同様に、一部のマネージャーは事前に提示した手数料を上回る成功報酬を請求しますが、セミキッドではこれらを開示する必要があります。手数料に関する当社のアプローチは、競争力のあるものにするだけでなく、可能な限り透明性を高めることです。

全体として、エネルギー移行資産への投資を検討する投資家は、恩恵を最大限に享受するためには、これらを長期投資として捉えることが極めて重要であることを理解する必要があります。従って、投資家の目的、流動性のニーズ、リスク許容度を考慮して投資配分を検討する必要があります。これらの要件は、再生可能インフラ資産が有する特徴と一致しています。

## [1] IRENA

## 【本資料に関するご留意事項】

- 本資料は、情報提供を目的として、シュローダー・キャピタル（以下、「作成者」といいます。）が作成した資料を、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が和訳および編集したものであり、いかなる有価証券の売買の申し込み、その他勧誘を目的とするものではありません。英語原文と本資料の内容に相違がある場合には、原文が優先します。
- 本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。
- 本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。
- 本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。
- 本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものではありません。
- 本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出された結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性があります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するに伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提となる仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。
- 本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。
- シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。
- 本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

創業から200年超、日本に根ざして50年。  
卓越した資産運用サービスをお届けするため、  
私たちの視線が向かうのは、いつもひとつ先の未来。  
今また新たな投資機会の発掘に向け、  
シュローダーは動き出しています。

